

相馬農業高等学校生徒との座談会

主催：(一社)福島県建設業協会

福島県建設業協会では、建設関係学科に進学した生徒を対象に、将来の建設業界への就職に備え、進路希望者の不安解消や理解の増進を図ることにより、雇用のミスマッチの解消や建設業への進路選択者を増加させることを目的に、生徒との座談会を開催しております。

今年度は、開催校初めてとなる相馬農業高等学校の環境緑地科2年生と座談会を行い、座学として建設業の役割や新社会人に求められる資質などを学びました。また、地元建設企業等の方をアドバイザーとして招き、建設業の仕事のやりがいや魅力などを講話いただき、生徒が抱える建設業への就職に対する不安や疑問について意見交換を行いました。

〈日 時〉 令和7年2月4日（火） 13：20～15：10

〈場 所〉 福島県立相馬農業高等学校 2階会議室（南相馬市原町区）

＜対象学年＞ 環境緑地科 2年生 16名

〈コーディネーター〉 佐藤規慶教諭、沖沢秀一教諭

＜アドバイザー＞ 地元建設企業3社（庄司建設工業株、草野建設株、株小野中村）

福島県土木部建設産業室、(一社)福島県建設業協会

座学1 「建設業の役割等について」

講師：福島県土木部建設産業室 主査 伊藤経介 氏



座学2 「建設業への就職に向けて」

① | C T 活用の現状と課題、今後の展望 … 講師：庄司建設工業(株) 工事管理部長 臺内広昭氏

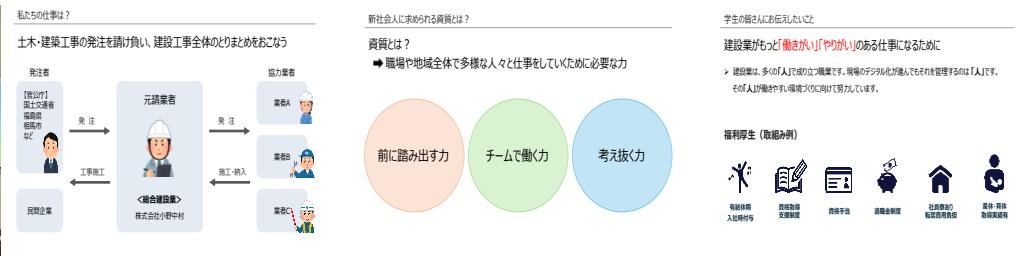


② 建設業を担う若手技術者に望むこと … 講師：草野建設株 代表取締役専務 草野貴之 氏



③ 新社会人に求められる資質 … 講師：(株)小野中村 常務取締役 植村卓馬 氏

管理部 遠藤亜沙子 氏



座談会（意見交換）

事前に行った就職意向調査の集計結果を基に、生徒が就職する上で特に興味・関心を持っている項目に対して、建設業の現状をお伝えし、意見交換を行いました。主な意見は次のとおり。

Q 1 初任給はどのくらいか

A 1 高卒だと、18万円前後（手取り）くらい。当社では高卒で入社した社員に対し、建設系の専門学校に行く資金を援助している。学校に通いながら、専門知識も学べてお給料ももらえるという取り組みを行っている。

Q 2 年間休日数はどれくらいか

A 2 年間休日は114日ほど。当社では、土日休みで週休2日だが祝日は出勤となる。ただ、祝日は有給休暇取得推進日となっており、社内では祝日に休みをとる社員が多い。

また、災害でライフラインが止まったり、河川の堤防が壊れている場合などは、早急な復旧が必要となるので土日に出勤することもあるが、その場合は振替休日で別な日に休みを取得できる。

Q 3 建設業に就く際に取得しておいた方がよい資格

A 3 技術者だと、2級土木施工管理技士補や2級建築施工管理技士補。技能者だと、玉掛けや車両系建設機械などを取得しておくとよい。また会社によっては、資格取得の支援などもあるので就職してからでも十分間に合う。

Q 4 仕事をする上で大事なことは

A 4 建設現場は同僚や先輩・後輩、様々な会社や外国の方などが働いているため、コミュニケーションを取って、チームワークで取り組むことが必要となる。

＜座談会の様子＞



＜生徒からの感想＞

労働時間や残業、職場の雰囲気について知ることができた。職場の上下関係が厳しいことについても、安全を第一に考えて仕事をしているからこそその関係であると知れた。仕事に対する誠実な姿勢を感じることができた。

＜鈴木学科長講評＞

企業の方があたたかく接してくれたおかげで生徒からたくさんの質問があり、積極的に意見交換に参加している様子を見ていた。この地域は、土木・建築の分野でまだがんばっていかなければならない。建設業に対する就職者数が少ないので、是非、今日の経験を活かして建設業への進路も一つの選択肢として考えてほしい。座談会の中でも繰り返し話に出ているが、「勉強」が大事。就職してからも学び続けてほしい。

